CloudStyle サービス仕様書

CloudStyle サービス仕様書　目次

◆CloudStyle 三要素 ・・ 1
◇一 リモートとは？ ・・ 2
◇二 仮想化とは？ ・・ 3
◇三 クラウドとは？ ・・ 4

◆CloudStyle Ⅲプラン ・・ 5
◇Ⅰ StylePC ・・ 6
・シングル ・・ 7
・マルチ ・・ 8
・マイデスク(自席PC) ・・ 9
◇Ⅱ S(Style)-SYSTEM ・・10
◇Ⅲ StyleServer ・・11
❸StyleFolder ・・12

◆CloudStyle 概要
◇CloudStyleの弱点 ・・13
◇CloudStyleの意味 ・・14
◇CloudStyleの実績 ・・15

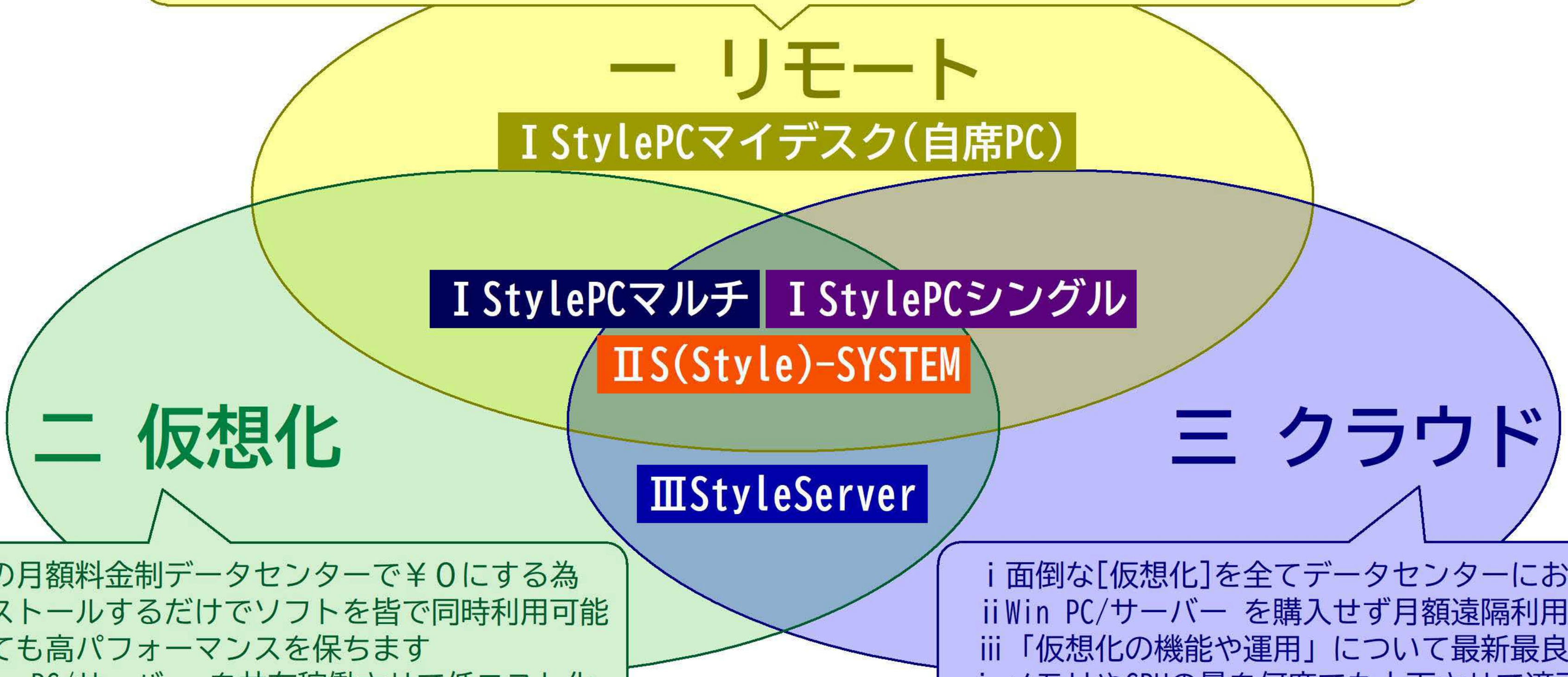
◆技術用語解説
◇仮想マシンとは？ ・・16
◇ハイパーバイザとは？ ・・17
◇オーバーコミットとは？ ・・18
◇ホストOS型仮想化ソフトとは？ ・・19
◇仮想マシンReplicationとは？ ・・20
◇P2Vマイグレーションとは？ ・・21
◇RemoteDesktopServices(RDS)とは？ ・・22
◇S(Style)-CONNECTとは？ ・・23
◇ソフトVPNとは？ ・・24
◇社内運用(オンプレミス)とは？ ・・25

◆CLOUDのVMware ESXiで動いている Windowsにリモート接続 ・・26

CloudStyle 三要素

①Windows PC/サーバー を、データセンター￥０条件[仮想化]して、丸っとお任せの[クラウド]で稼働させ、端末自由/端末故障不問/快適/ネット遠隔 な[リモート]操作
②上記３つの要素でITの困りごとを解決します ③３つの基本プランがあります

ⅰ手元端末自由（iPad/iPhone/Mac/Android/WinPC） ⅱWindowsPCをネット快適操作
ⅲ手元端末はただのリモコンだから ①壊れても②盗まれても 安全安心 ⅳ感染知らず
ⅴ遠隔地（会社/DC）のWinPC操作が通常のWinPCと同じ快適さ ⅵアプリケーションのみも



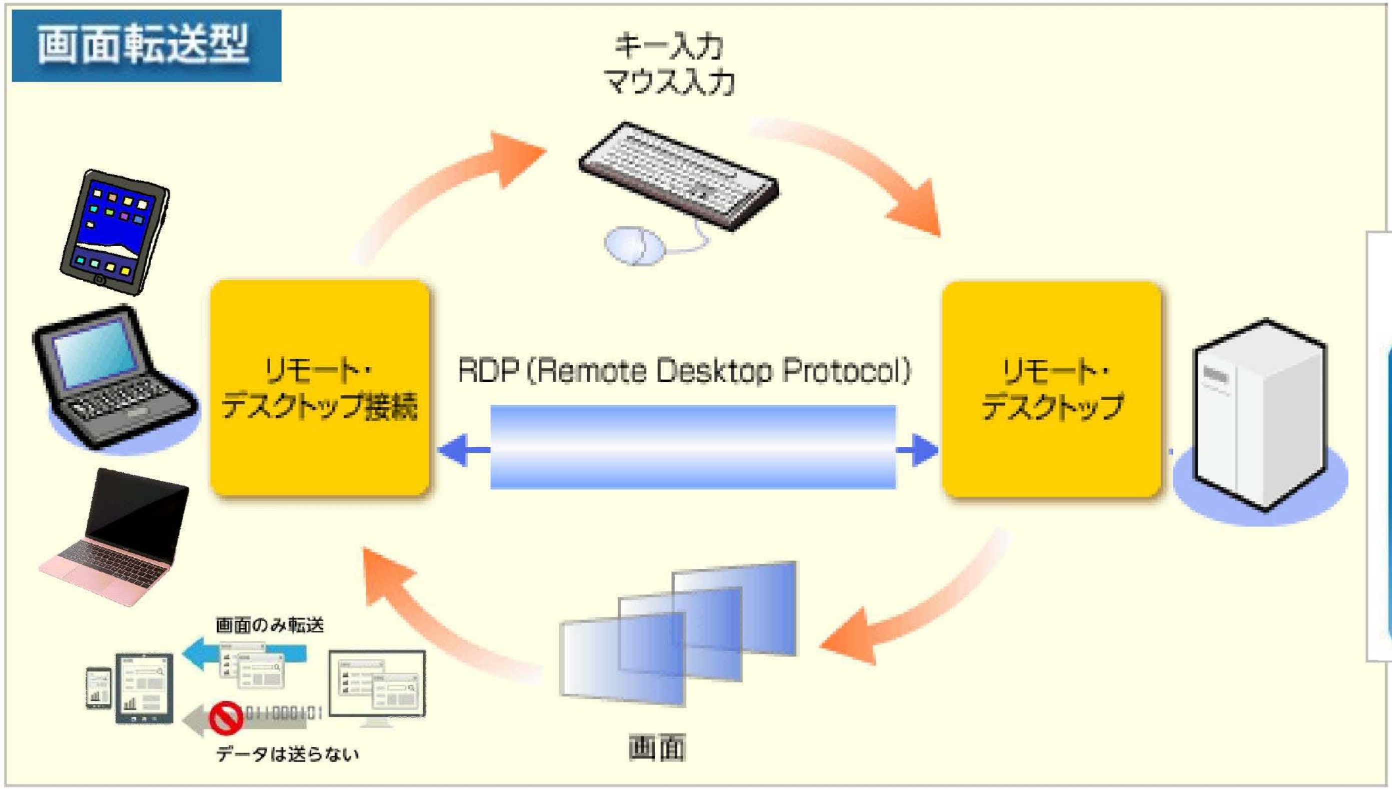
ⅰ体積単位の月額料金制データセンターで￥０にする為
ⅱ一度インストールするだけでソフトを皆で同時利用可能
ⅲ使い続けても高パフォーマンスを保ちます
ⅳ多数の Win PC/サーバー を共存稼働させて低コスト化
ⅴWin PC/サーバー のウィルス感染時や機器故障時には
OS丸ごと、前日の状態に戻せます（毎晩バックアップ）

ⅰ面倒な[仮想化]を全てデータセンターにお任せ
ⅱWin PC/サーバー を購入せず月額遠隔利用
ⅲ「仮想化の機能や運用」について最新最良を保証
ⅳメモリやCPUの量を何度でも上下させて適正価格
ⅴ有用なITサービス（恵みの雨）を巨大な
インターネット（雲）から管理不要で簡単に享受可能

ー リモートとは？

①WinPCをネット遠隔操作 ②手元端末自由（iPad/iPhone/Mac/Android/WinPC）
③手元端末はただのリモコンだから ⅰ壊れてもⅱ盗まれても 安心安全 ④感染知らず
⑤遠隔地（会社/DC）のWinPC操作が今のWinPCと同じ快適さ ⑥アプリケーションのみも

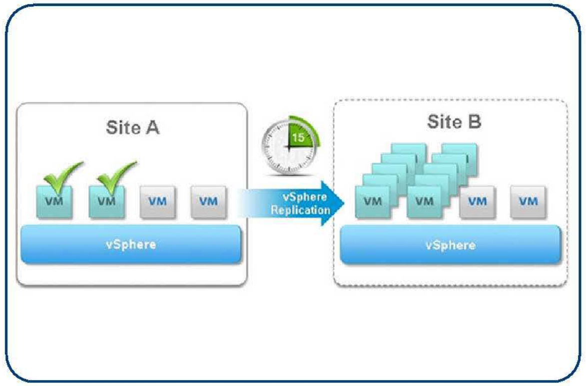
Microsoft標準機能　レシーバーPCはHomeでも　ホストPCはPro

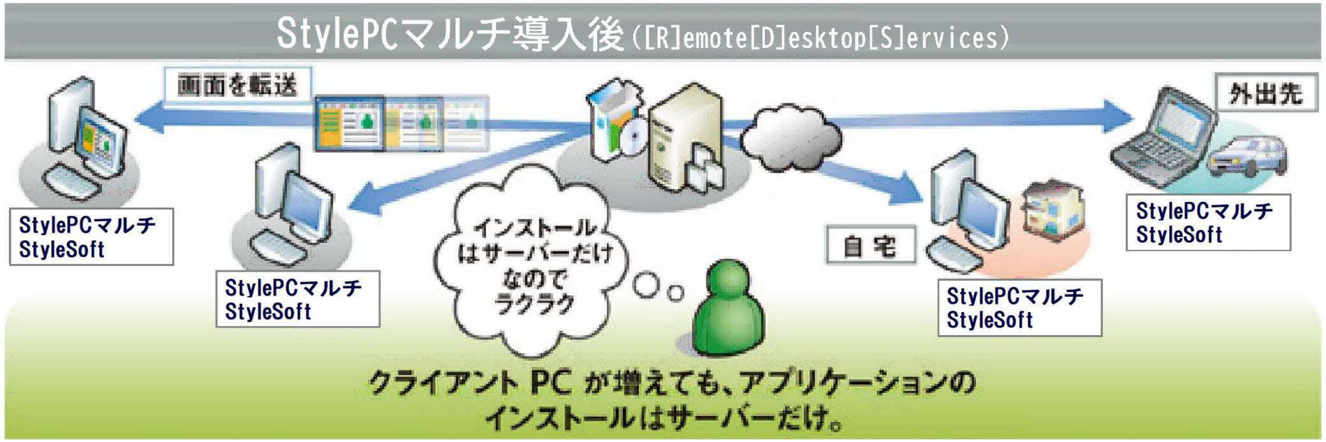


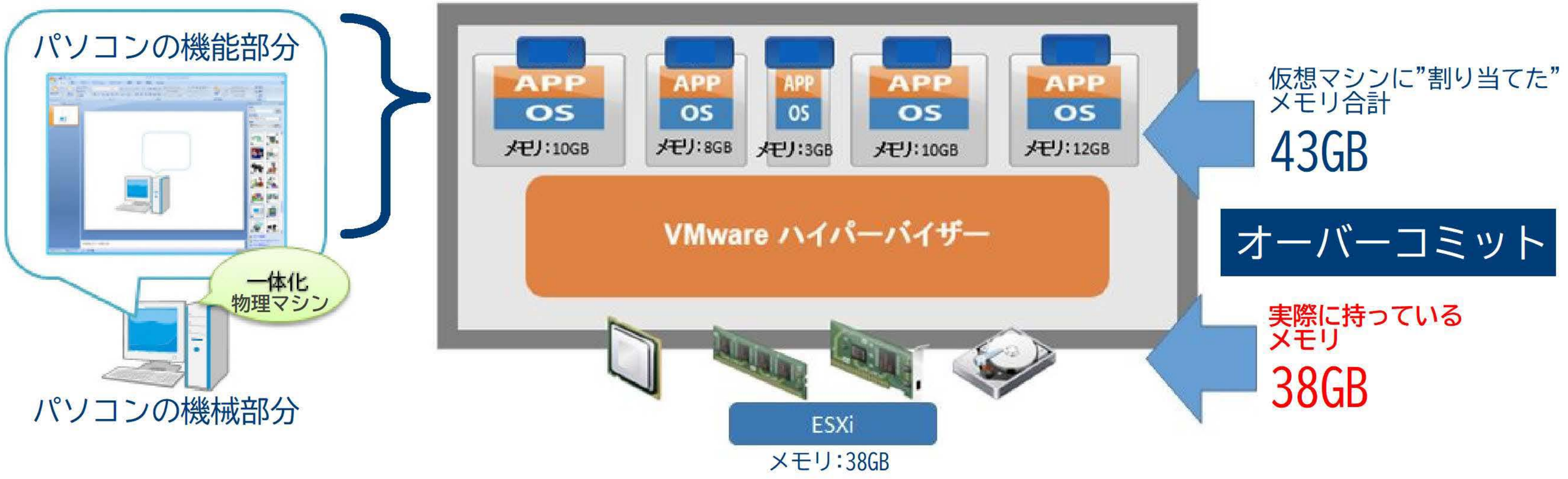
RemoteApp　アプリケーションのみ

二 仮想化とは？

①月額料金が体積で決まるデータセンターで￥０ ②一度インストールだけでソフトを皆で同時利用可能 ③使い続けても高パフォーマンス ④多数の Win PC/サーバー を共存させて低コスト ⑤Win PC/サーバー 万が一の際にOS丸ごと前日の状態にすぐに戻せます

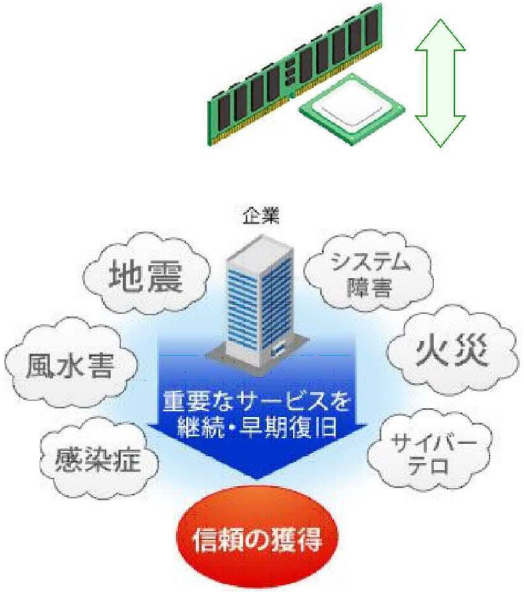


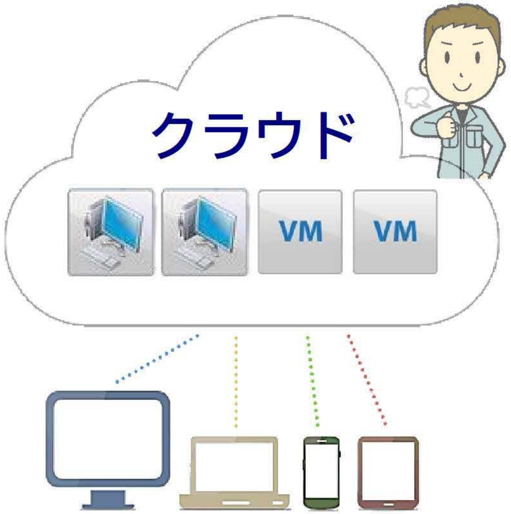


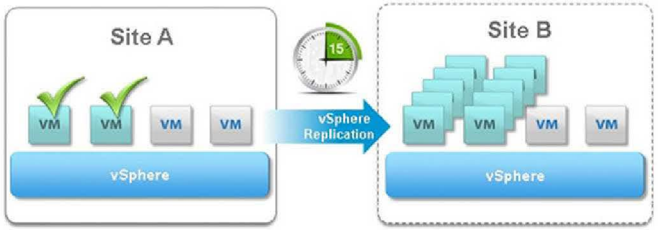


三 クラウドとは？

①面倒な仮想化を全てお任せ ②Win PC/サーバー を購入せず適正価格で月額遠隔利用
③「仮想化の機能や運用」最新最良を保証（社内運用のほうが高価となる可能性も）
④CPUやメモリの量を何度でもいつでも上下させて適正価格を保ちます







・別のハードウェアへ定期的にコピー
・非常時にコピーマシンへ切り替え

データセンターからのサービス提供をなぜ「クラウド」と呼ぶのか？？？

「クラウド・コンピューティング」という言葉自体は2006年8月、グーグルの最高経営責任者のエリック・シュミット氏が
米・カリフォルニアで開かれた「サーチエンジン戦略会議」の中で

「ブラウザの種類も、アクセス手段も、パソコンかマックか、携帯電話かも無関係です。
"雲(クラウド)" のような、巨大なインターネットにアクセスすれば、その利益、恵みの雨を受けられる時代になっています」

という発言を受けて生まれた。

CloudStyle Ⅲプラン（融合プラン除く）

①複数のプランを組み合わせて、あなたの環境に合った「最適解」を必ず見つけます
②まずは、すべての業務の土台となる『ⅢStyleServer(共有フォルダ)』にあえてご注目
③プランの組み合わせ変更はいつでも可能 気になるあのプラン「のみ」でスタートOK

Ⅰ StylePC・・「どこでもドア」ならぬ「どこでもWindows」

・シングル	●今あるWinPCをそのまま「仮想マシン」に「変換」すれば、検証も設定も一切不要
・マルチ	●例え100人でもWinPC1台でリーズナブル運用 ●ソフトインストールは一回のみ
・マイデスク(自席PC)	●リモート/モバイル ワークの実現 ●iOS/Android/Macからでも 自/他 席 のWinPCをリモート

Ⅱ S(Style)-SYSTEM・・iPadでもサクサク動いて編集も可能　インストール不要の業務システム

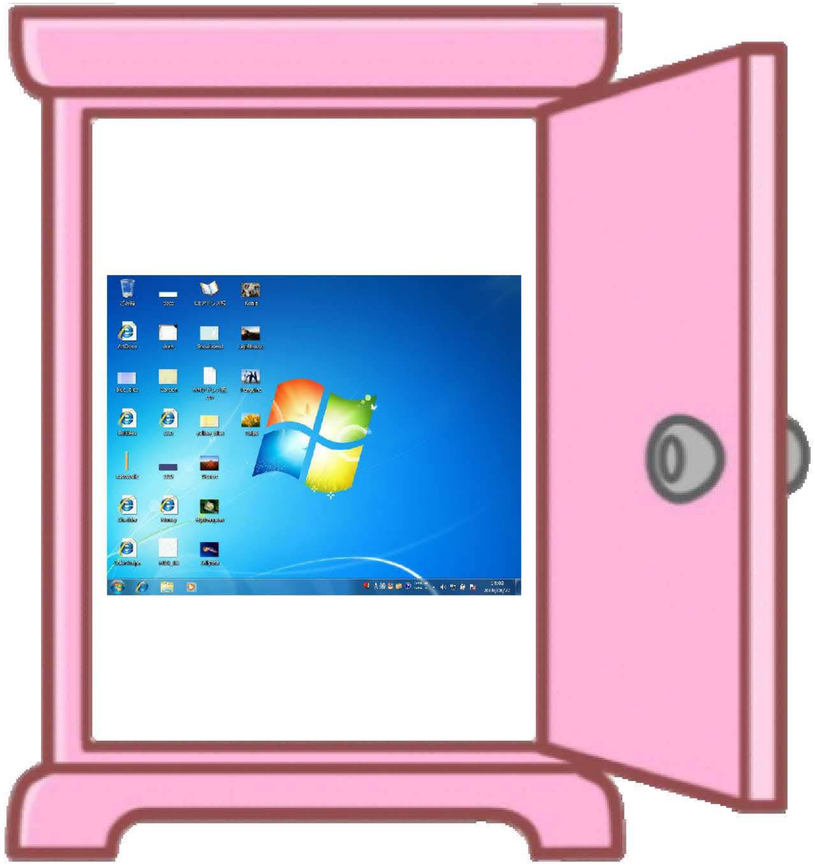
●クラウドのマルチテナント型基幹業務システムを端末自由でリモート操作 ●2画面同時の「ながら利用」が快適
●CloudStyleユーザーは無償提供（2名まで）●売上・仕入・在庫・勤怠・スケジュールなど全て追加費用なしで利用可

Ⅲ StyleServer・・各PCからの耐ランサムウェア強度最大100%も　サーバー実機購入不要

●「共有フォルダ」をあれもこれも不要で即利用可 ●耐ランサムウェア強度は、利便性とトレードオフ ●
●StylePC シングル/マルチ との併用では高パフォーマンスをお約束 ●ソフトVPNクラクラで各拠点からの強度ほぼ100%
（❸StyleFolder ・各拠点からの強度100% ・S-CONNECTだけですぐに簡単利用 ・ダイアログボックス使用不可）

Ⅰ StylePC

①「どこでもドア」ならぬ「どこでもWindows」でどこでもすぐに同じWinPCを開く
②「マイコックピット」ならぬ「マイWindows」で端末変わっても同じWinPCを開く
③・シングル　・マルチ　・マイデスク(自席PC)

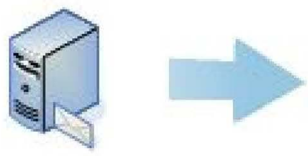


Ⅰ StylePCシングル

①今あるWinPCをそのまま「仮想マシン」に「変換」すれば、検証も設定も一切不要
②CPUやメモリの量を増やしたり減らしたりがわずか数分でいつでも可能です
③「新規」の仮想マシン作成もOK　④今まで通りの自由な「パーソナル性」を実現

検証 不要

設定 不要



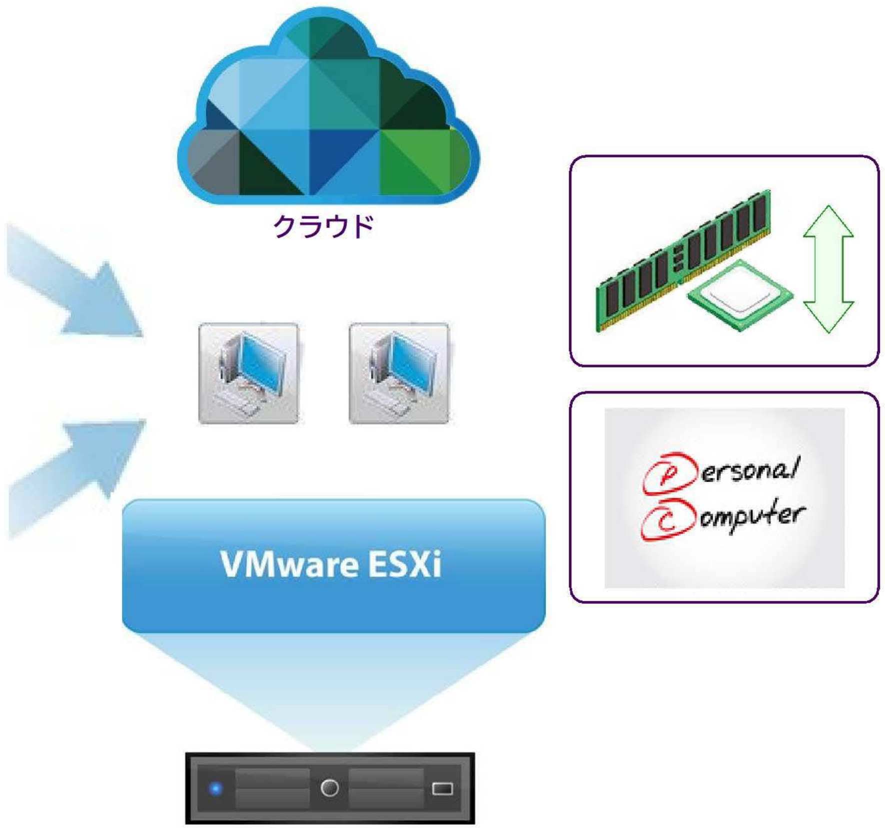
変換

ⅰWindowsPC OSインストール

ⅱソフトウェアインストール

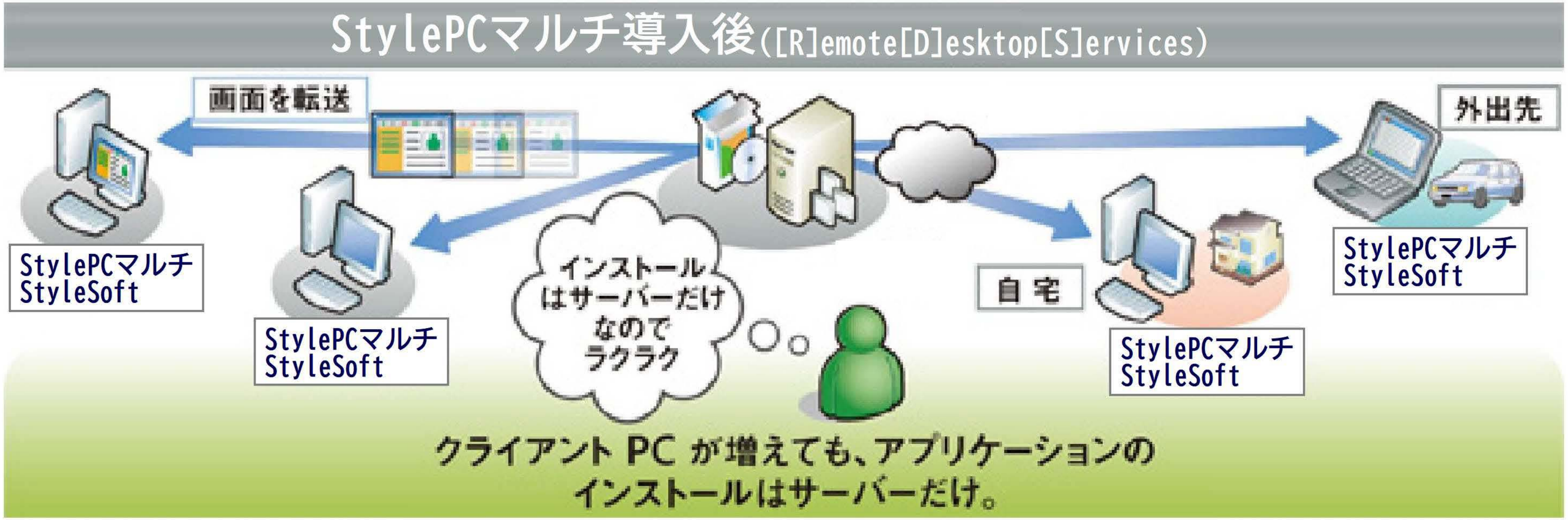
ⅲ各種初期設定

新規



Ⅰ StylePCマルチ

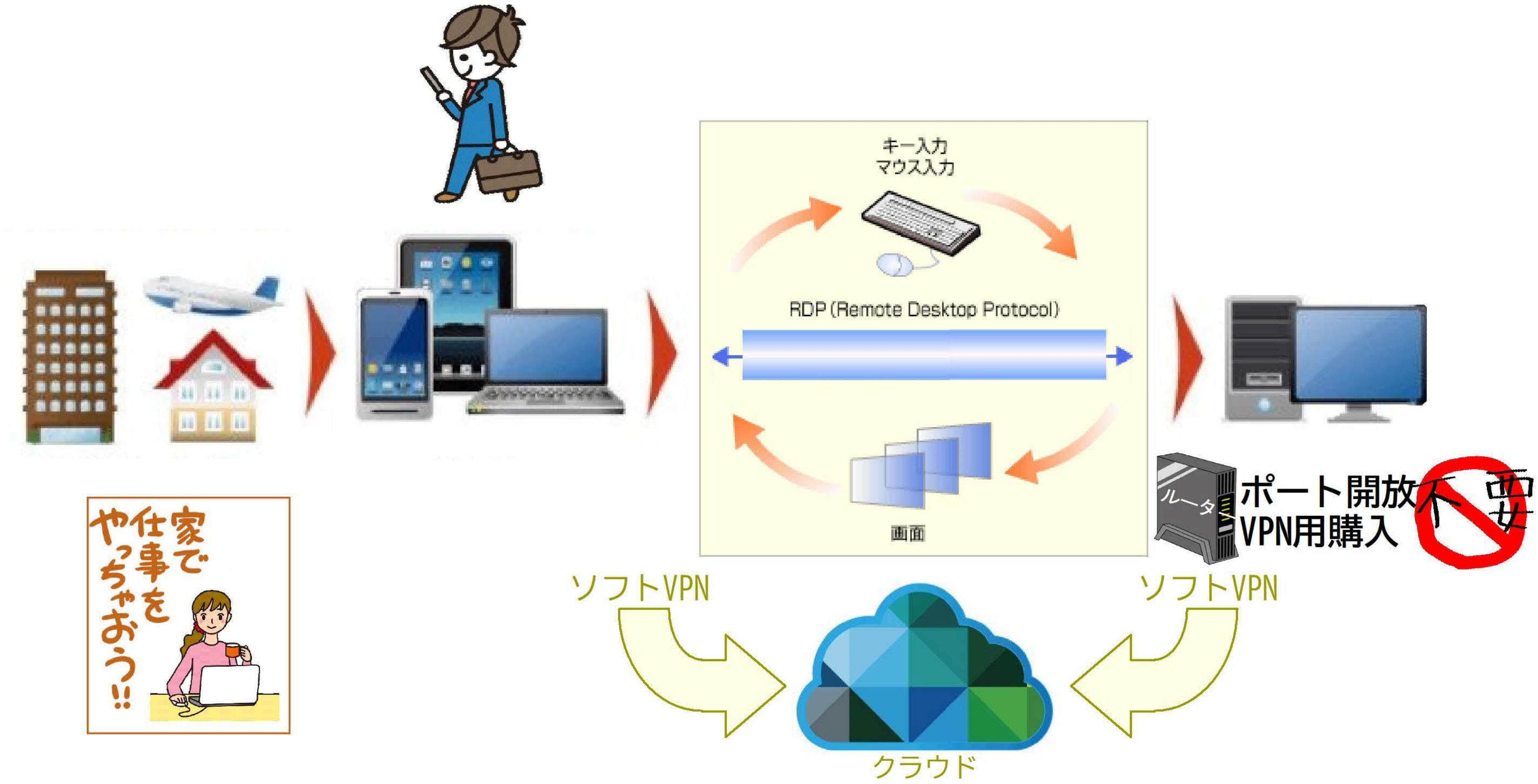
①例え「１００人」でもWinPCは「１台」のみでOKだからリーズナブルに運用可能
②１度インストールするだけで皆がそのソフトウェアを同時に利用できてラクラク
③１台のWinPCに皆で同時にログオン ●RemoteDesktopServices という標準機能



Microsoft
Remote Desktop Services

Ⅰ StylePCマイデスク（自席PC）

①自席PC/他席PC のリモート操作で リモートワーク/モバイルワーク がすぐさま実現
②ルーターにポート開放設定をすることなく「ソフトVPN」で出先から自宅から安全接続
③iOS/Android からササっと 自席PC/他席PC を出先でリモート操作 Macでも

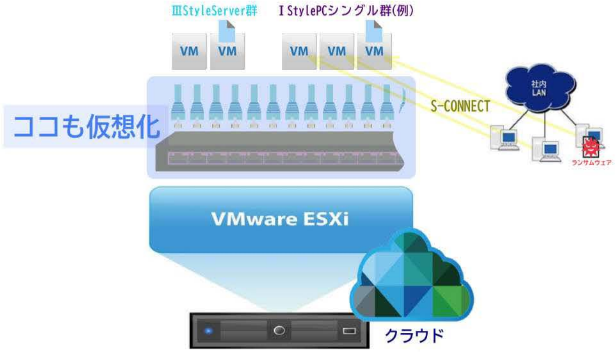


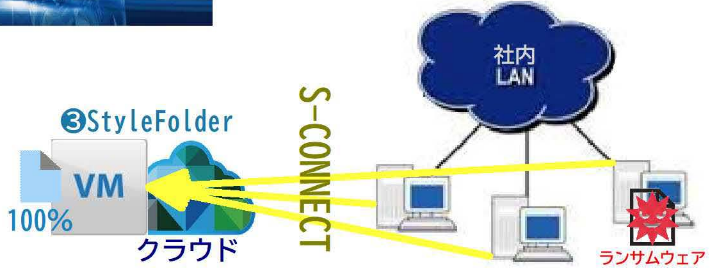
Ⅱ S(Style)-SYSTEM

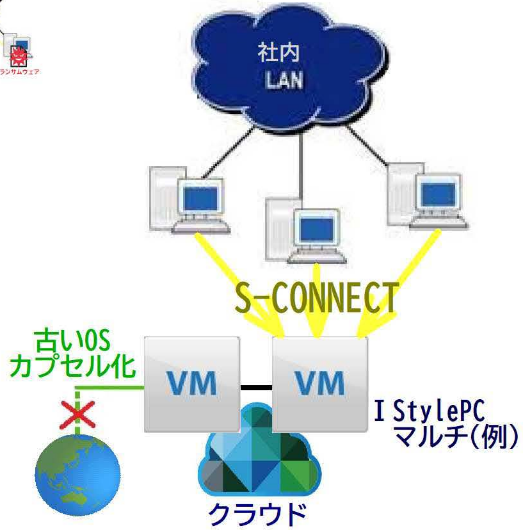
①Microsoft Access2021 64ビットにて開発
（各端末にインストールする必要は一切ありません　Microsoft Access2021 64ビットもRuntimeも）
②各種プログラムは自動的にアップデートされ、追加費用無しで全て利用可能
（・売上 ・仕入 ・受注 ・発注 ・情報共有 ・在庫 ・勤怠 ・スケジュール …）
③WindowsPC端末からは簡単接続アプリ「S-CONNECT」で利用します
④iPadでも、閲覧だけでなく 新規登録/修正 など全ての編集作業が可能
⑤ウェブブラウザと同じタブ形式で、簡単に別の画面を追加表示可能
⑥iPhoneの小さい画面でも、専用レイアウトで簡単に操作が可能
⑦ご利用は月額料金制の1ライセンスから0Kで、大きなカスタマイズが無い場合は初期費用￥０
⑧CloudStyleユーザーには無償提供（同時利用2ユーザーまで）
（CloudStyleサポート窓口機能有り　CloudStyleに関する、契約内容や各種情報を管理）
⑨S-SYSTEMを同時に二つ開くことができるから「ながら」利用が可能
⑩Microsoft Accessでも、複数ユーザー同時利用で全く遅くならず
⑪いつでもBackupデータがダウンロード可能
⑫非常時には前日の状態に戻します
⑬サーバーの購入も、サーバーの設置も、一切不要
⑭各端末に対して、S-SYSTEMを利用するための、初期設定もインストールも一切不要

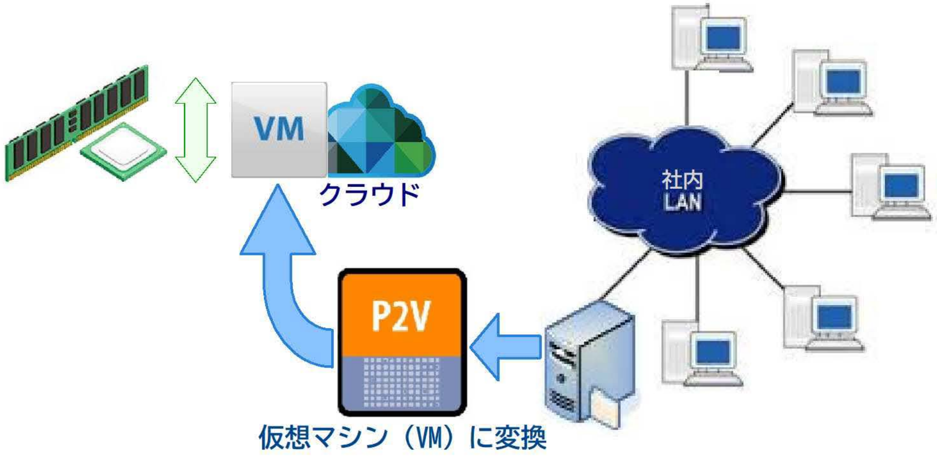
Ⅲ StyleServer

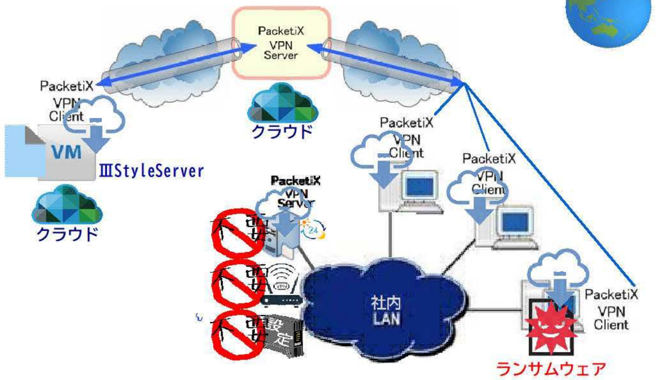
①実機サーバーを仮想マシンに変換（P2V）してクラウドへ ②古いOSは「カプセル化」
③耐ランサムウェア強度100%も有 ④サーバーは実機を購入せずクラウド版を借りよう
⑤負荷に応じたスペック上下で適正料金 ⑥ハブ無LANケーブル無で爆速 ⑦ソフトVPN





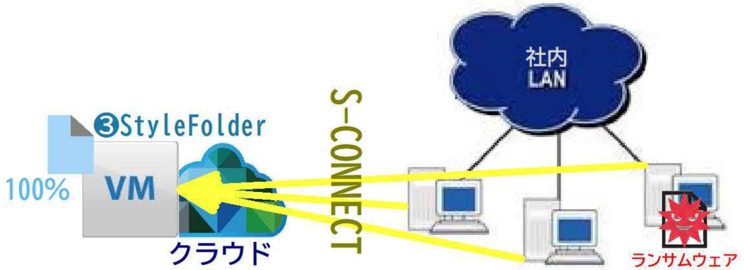






Ⅲ StyleServer ❸StyleFolder

①耐ランサムウェア強度100%　VPN不要　ソフトインストール不要　S-CONNECTだけで
②完璧クラウドフォルダ ③S-CONNECTさえあればOKだから取引先との情報共有にも
④ExplorerをRemoteAppで開きます（通常はソフトを開く為のRemoteAppですが）



oneFolder

CloudStyleの弱点

①モバイル利用時には安定したネット回線が必要です　新幹線を利用する際には「車内インターネット接続サービス」で
接続することをおすすめいたします（事前に回線業者との契約が必要です）
※ネットが途切れたとしても向こう側では正常に稼働していますからデータに悪影響は全くありません

②WAN経由接続の場合（クラウド運用全般、社内運用での支店、社内運用での外出時）、以下のような問題があります
・動画をご覧になる際に音ズレが生じる場合があります（YouTube等）※手元端末がMacの場合、音ズレは生じません
・大容量データを手元端末からリモート先へ移動/コピーする際に時間が掛かります
・3DのCADソフトを使用する際にスムーズな動きが表現されないことがあります
※社内運用時の社内では上記のような問題はほとんどありません

③ソフトウェアだけをリモート操作する「StyleSoft」の場合、別途、専用の言語バーが画面上に表示されることがあります

④共有フォルダをクラウドから利用する「StyleServer」の場合、ファイルの起動時や終了時に待ち時間が若干発生します

⑤当社クラウドを経由する「ソフトVPN LAN」で、充分なネットスピードが確保できない場合には
「StyleServer」がスムーズに利用できないことがあります

⑥プラン数が３つもあり、その運営方法も複数あって、さらに組み合わせも多岐に渡ることから
サービス内容がわかりにくいことがあります
（３プラン×クラウド運用/社内運用×仮想/物理）（複数プラン併用）

CloudStyleの意味

①普段、Windowsで仕事をしていますか？　もしそうであれば、タブレットでもスマホでも他人のPCでも、そのいつもの
Windowsが利用できるようになりますから、端末に関係なく普段と全く同じ仕事ができます

②Macの美しさに惹かれてしまうとか、ニューモデルがどうしても気になるとか、そんなアナタに朗報です
引っ越しに手間が掛からずスペックにも左右されないから、迷わず気に入ったその端末の最廉価版を頻繁に購入してOK

③あなたのパソコンやサーバー、その実機をデータセンターに置いてリモート利用することも実は可能なんですが、それでは
体積で月額料金が決まるデータセンターで賃料が高額に　体積の無い 仮想パソコン/仮想サーバー で賃料を抑えます

④サーバー業者に騙されないで欲しい　もうサーバーは購入しなくて良いんです

⑤出張前に間違いなく、必要な情報を社内PCから持ち歩き用PCに移動したはずなのに、全て移動できていなかった…
というあるある話　社外から直接社内PCを使ってみませんか？

⑥Office（エクセルとか）もIllustratorもPDFにするソフトも欲しいソフト全てがインストールされているプランもあります

⑦車に保険を掛けるように、パソコンの中身に保険を掛けてみませんか　消えない止まらないを保証します

⑧皆さんのパソコンのこと、陰ながら勝手に心配しています…　なぜなら壊れたあと、元に戻す作業は大変ではないですか
例え壊れても今までのような元に戻す作業は一切不要

CloudStyle　実績　2026年01月現在

●クラウド：社内　→　ほぼ10：0

●StylePCシングル：StylePCマルチ　→　8：2

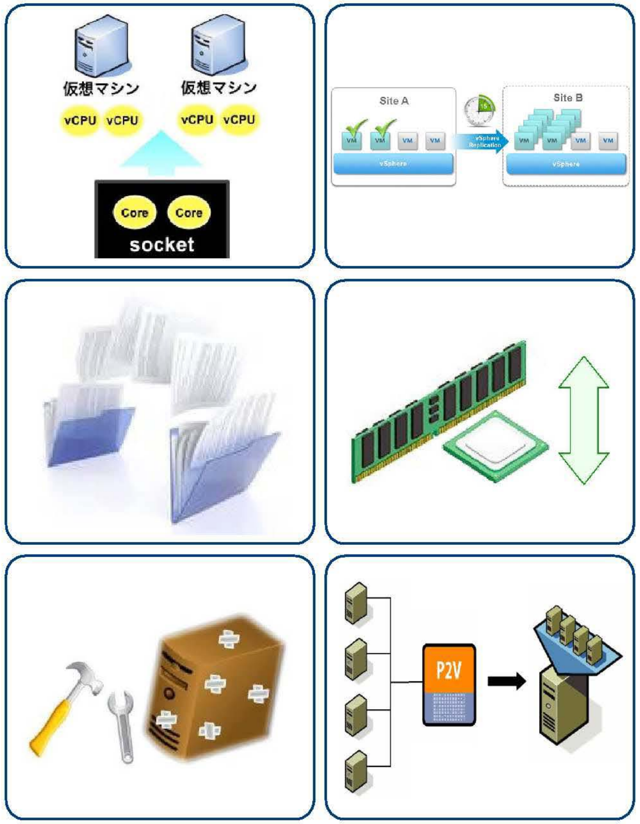
●業種傾向　→　特に無し

●一般販売開始　→　2011年4月　～

●基礎開発期間　→　2005年7月　～　2011年3月　67ヶ月

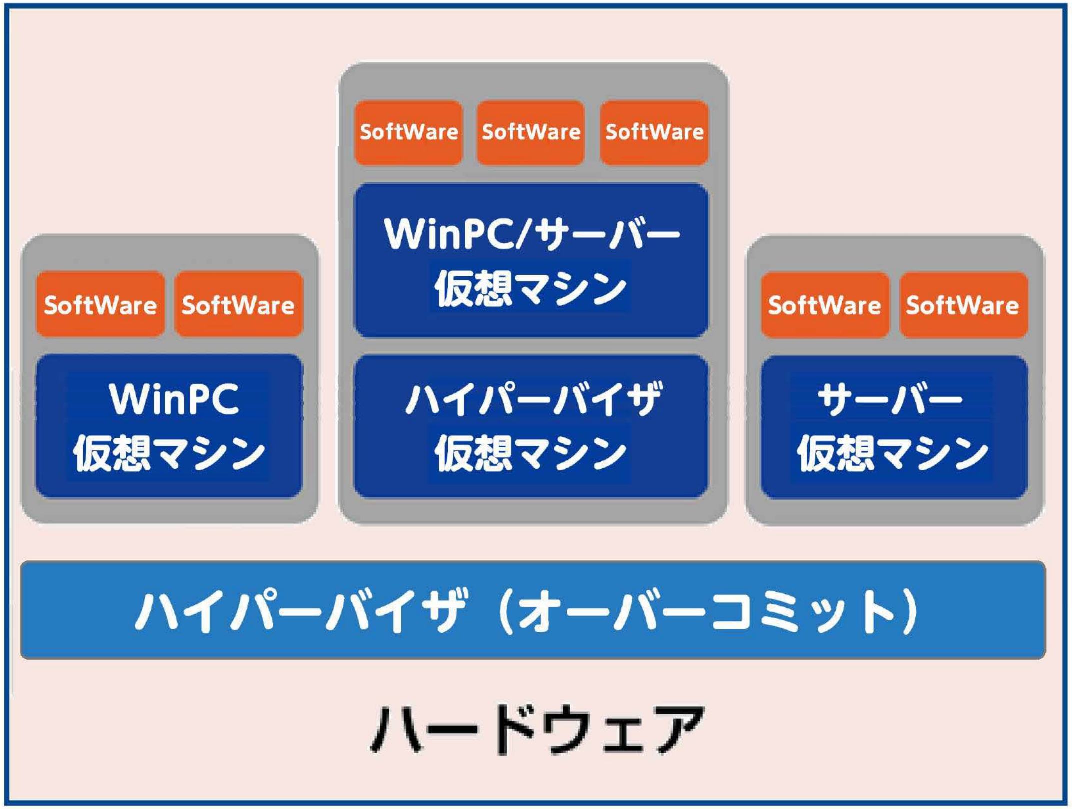
仮想マシンとは？

①実態はただのフォルダだから体積で月額料金が決まるデータセンターで ￥０ の条件
②丸ごとバックアップ/オーバーコミット の条件 ③今の Win PC/サーバー を変換可能
④ⅰコピーⅱ移動ⅲスペック上下ⅳOS古いまま安全継続利用 が専用環境で簡単に可能



ハイパーバイザとは？

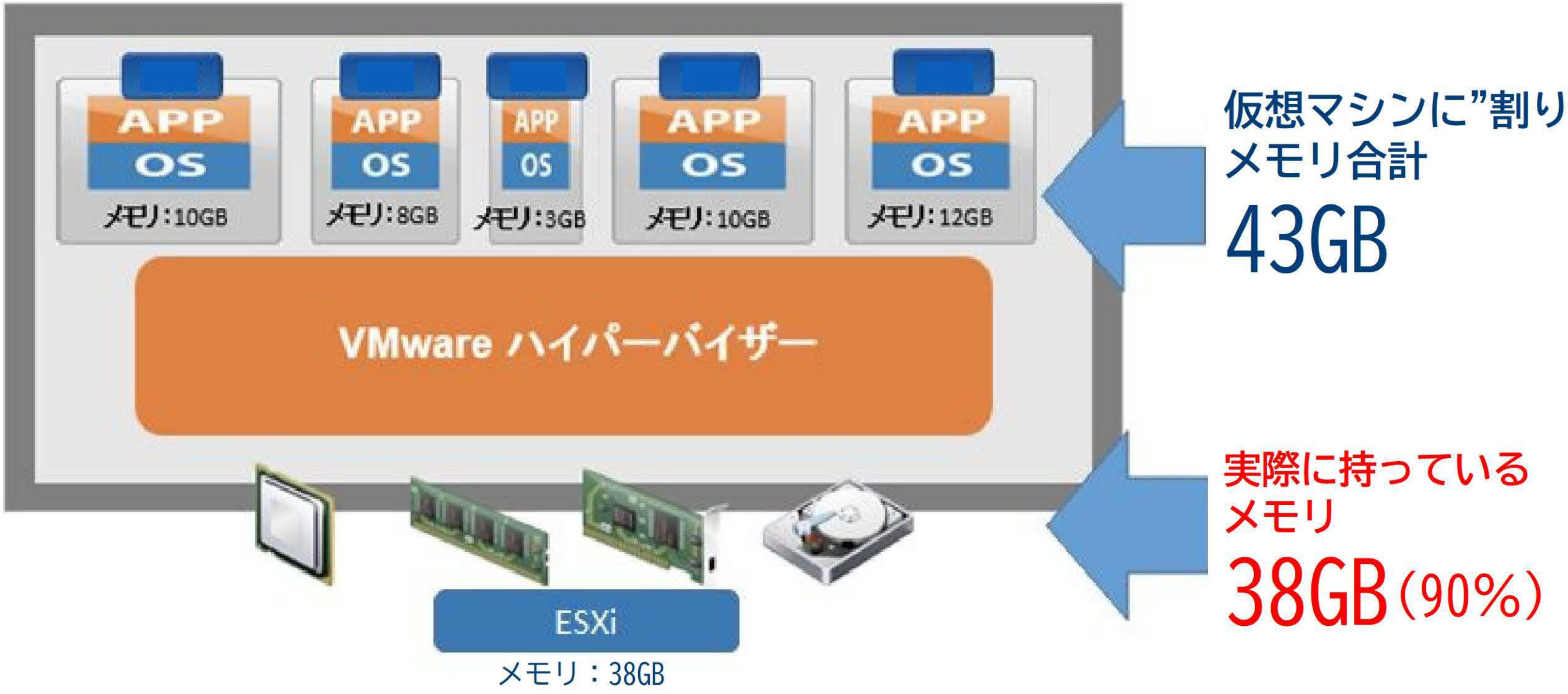
①仮想マシンを多数共存稼働させて仮想化機能を 実現/運用 するための専用「OS」
②HV (ハイパーバイザ) 上の仮想マシンは実機の Win PC/サーバー よりも優れたパフォーマンス
③ほとんどの作業をGUIで実施可能でコマンドを打つ必要がない（vSphere ESXi）



◆VMware → vSphere ESXi
◆Citrix → Xen
◆Microsoft → Hyper-V

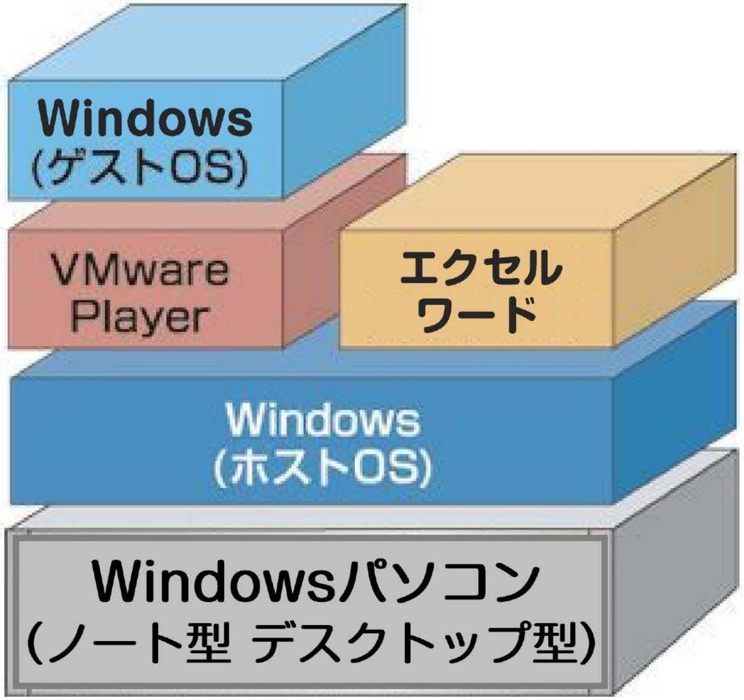
オーバーコミットとは？

①共存稼働している仮想マシン同士でCPUやメモリを融通し合って 高効率/低コスト
②例1）実際メモリ38GBの場合でもメモリ合計43GBで仮想マシン群を安定稼働可能
③例2）実際CPU20コアの場合でもCPU合計18コアで仮想マシン群を安定稼働可能



ホストOS型仮想化ソフトとは？

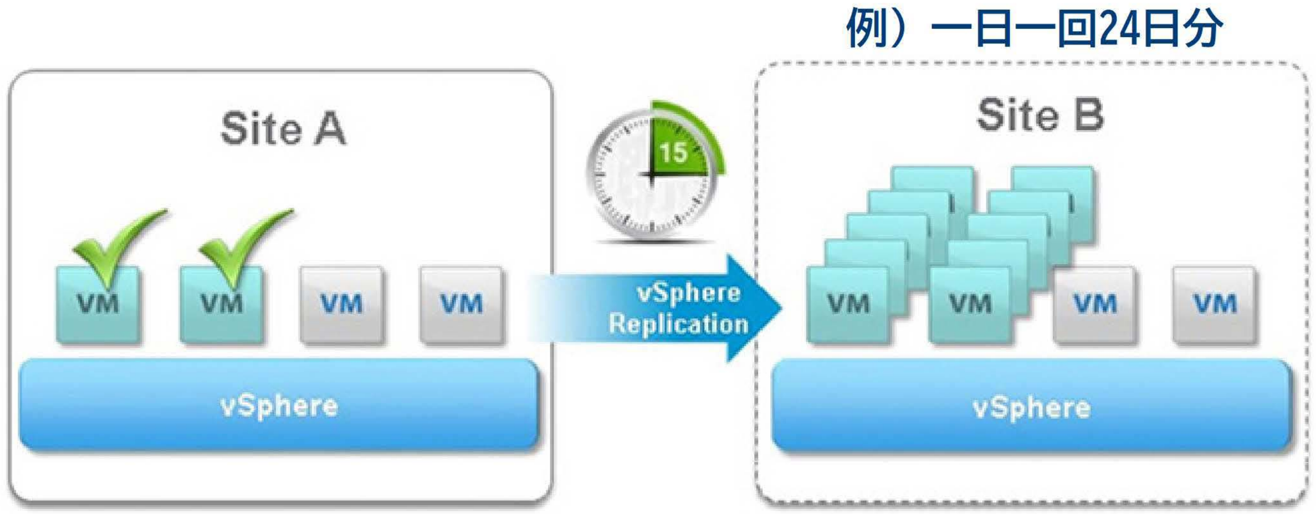
①Win PC/サーバー にインストールすることで、別の Win PC/サーバー の同居が可能
②Win PC/サーバー 内へ、クラウドの Win PC/サーバー を引越しすることが簡単に可能
③ひとつの Win PC/サーバー で複数の種類のコンピューターを稼働させることが可能



◆VMware → Player

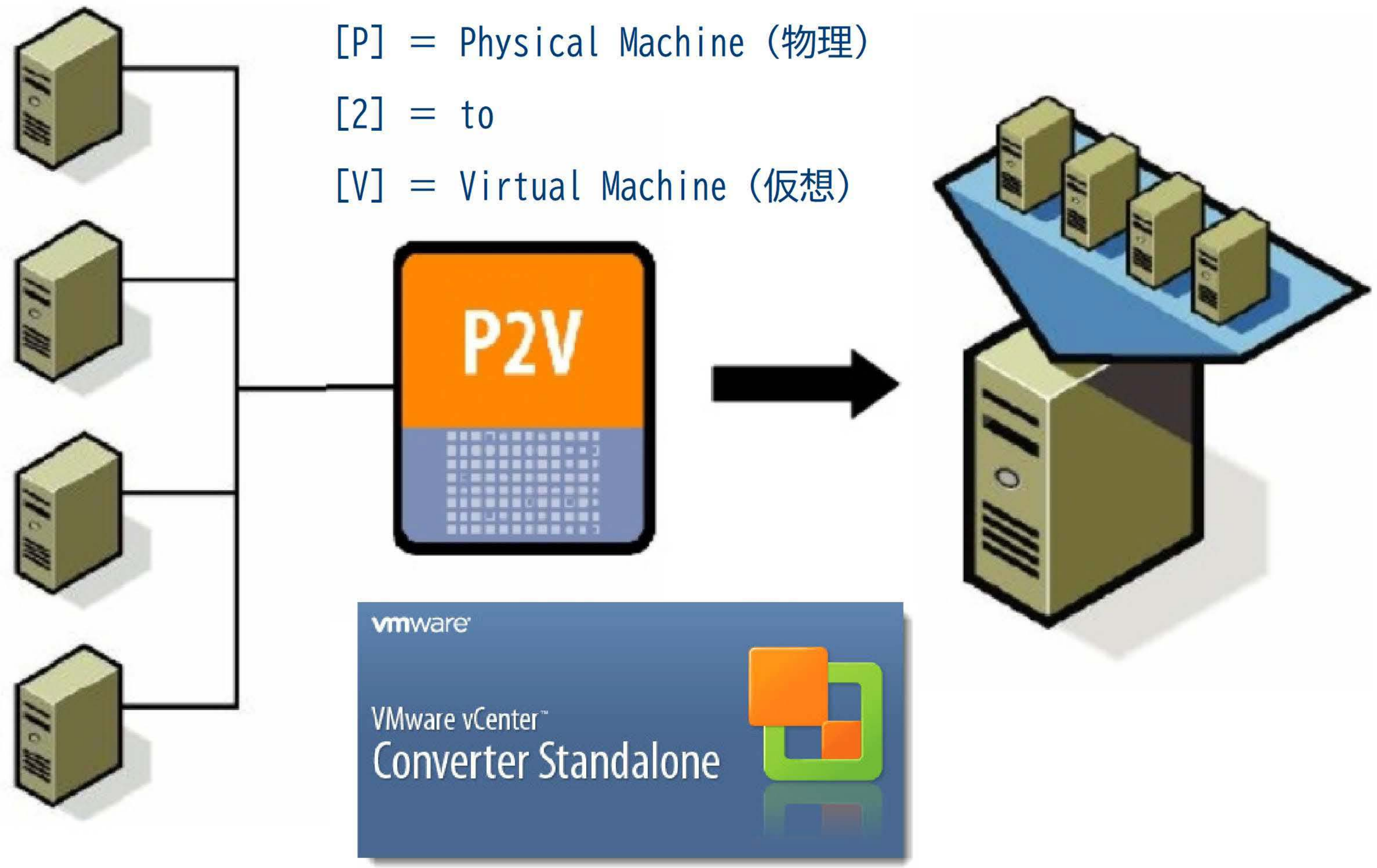
仮想マシンReplicationとは？

①クラウドでは、稼働中の Win PC/サーバー を丸ごと別のハードウェアへ定期的コピー
②仮想マシンのウィルス感染時やハードウェア故障時にはコピーマシンに切替が可能
③仮想マシンの特性である「実態はフォルダ」というものが存分に生かされた仕組み



P2Vマイグレーションとは？

①今ある Win PC/サーバー をそっくりそのまま仮想マシンに変換して専用環境へ移行
②HV(ハイパーバイザ)へ「引っ越し」する際に「忘れ物」が一切無く安心
③たった一晩でそのPCやそのサーバーをクラウドで稼働させることも可能な場合有り



[R]emote[D]esktop[S]ervices（RDS）とは？

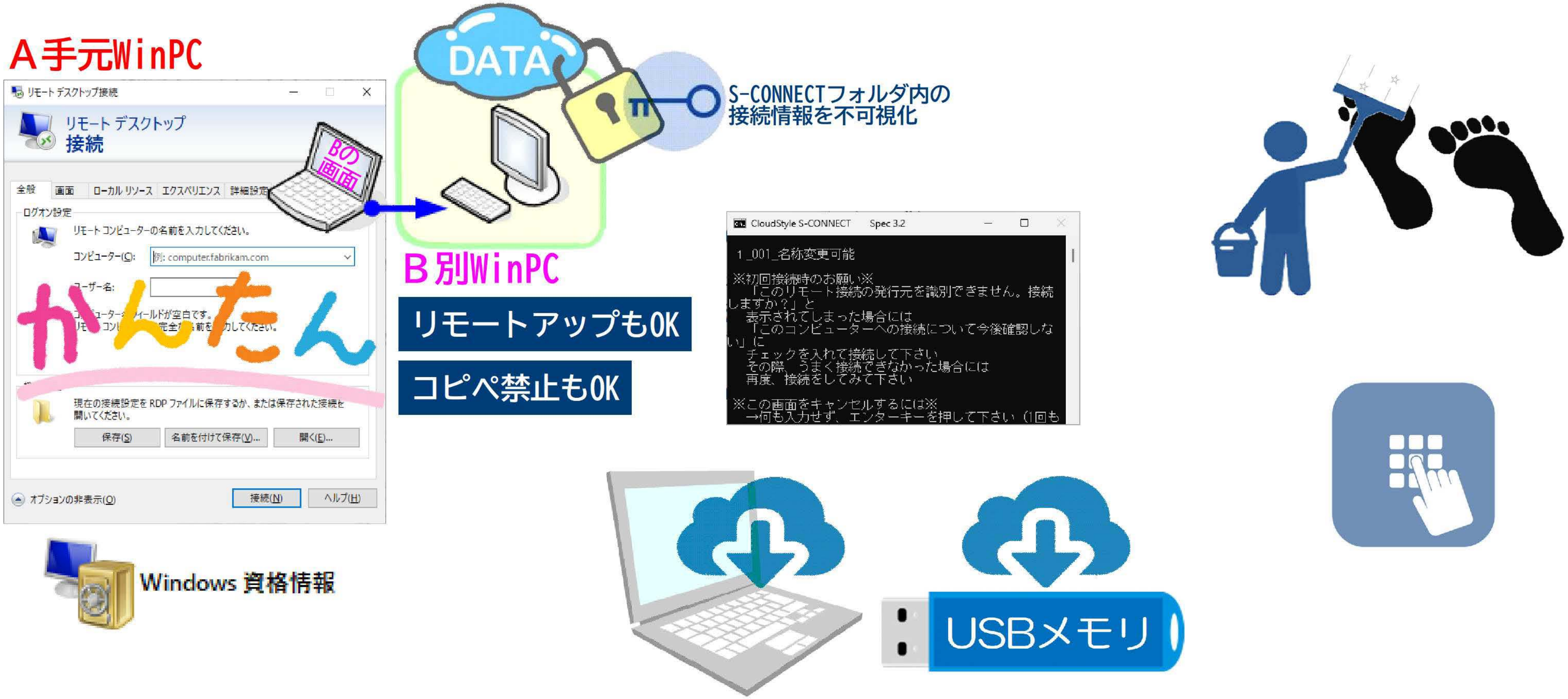
①マルチユーザー機能 ＋ 複数人同時リモートデスクトップ で 一台で100人もOK
②ライセンスは紳士協定だからリーズナブル導入 ③ソフトインストールは１回のみ
④2000年からWindowsサーバー標準 ⑤定型作業を大人数で、という環境に大変有効

１対ｎの関係

Microsoft
Remote Desktop Services

S(Style)-CONNECTとは？

①A手元WinPCで、B別WinPCへのリモートデスクトップ接続が 安全/簡単 になるアプリ
②登録情報不可視化 ③手元PCへのコピペ禁止OK ④RemoteAppOK ⑤共有フォルダ設定も
⑥PINナンバーで接続 ⑦コピー可(アプリは フォルダ形式) PC本体/USBメモリ ⑧A手元WinPC履歴残さず



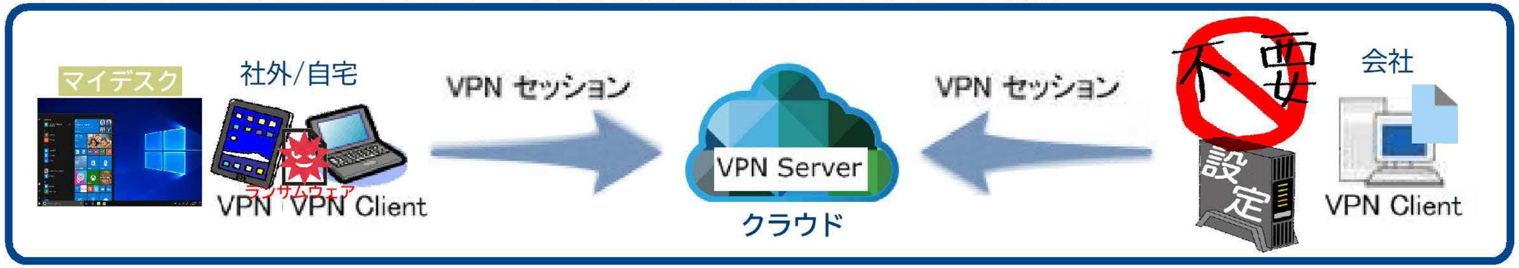
プランの中には入っていませんがCloudStyleを支える重要な仕組みのひとつです

ソフトVPNとは？

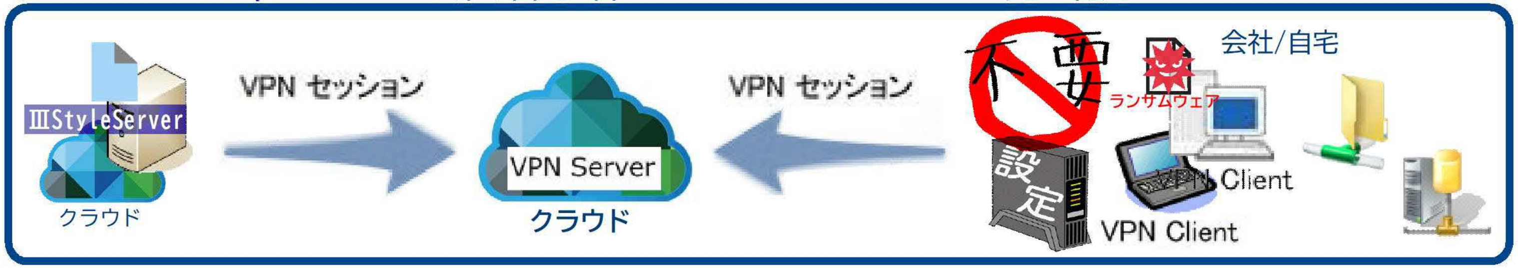
①PCやサーバーへ「専用ソフトをインストール」してVPNルーター機器不要で遠隔地接続
②ルーターにポート開放の設定が不要な場合、ⅰ感染しにくい ⅱ素早く設定 ⅲお手軽
③月額費用０円（⇔VPNルーターを設置する他社の場合は月額費用が必ず発生）

月額
0円

ソフトVPN ⅠStylePCマイデスク 社外各端末から会社PCをリモート操作



ソフトVPN ⅢStyleServer 会社/自宅 各PCからクラウドサーバーを完全利用

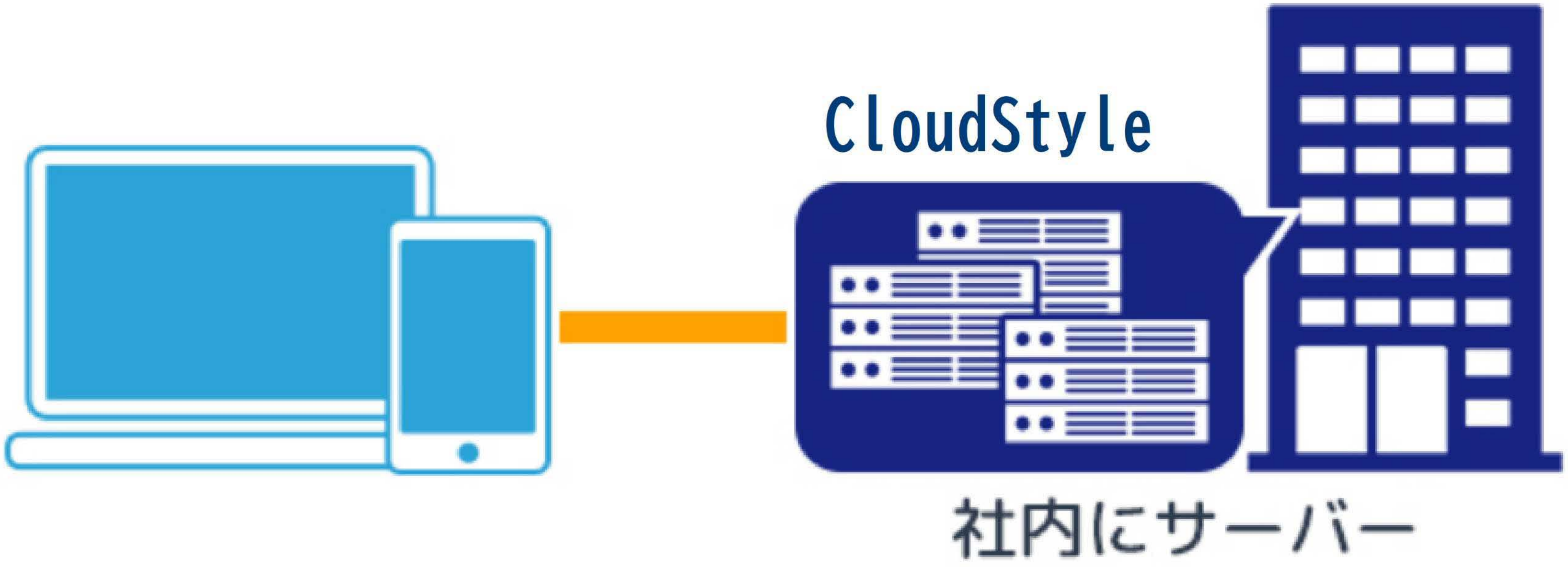
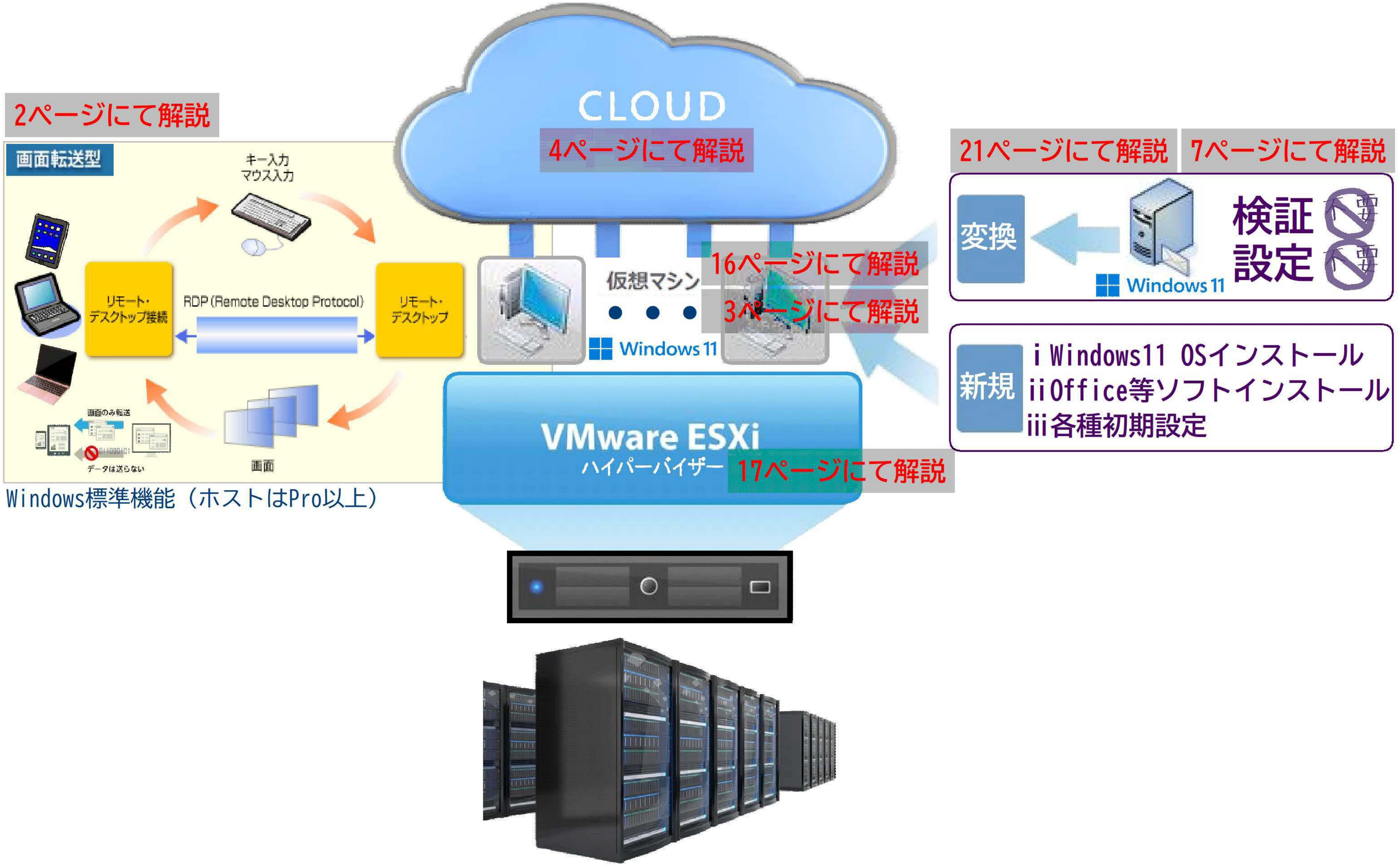


ソフトVPN ⅠStylePC シングル マルチ クラウドPCから直接会社の複合機に印刷可能 サーバーも

プランの中には
入っていませんが
CloudStyleを支える
重要な仕組みのひとつです

社内運用（オンプレミス）とは？

①社内にサーバーを設置し社内運用とすることで月額料金を抑えます
②全てのプランで可能（ⅡS-SYSTEM除く）
③災害の時や天災の時には、その影響を受ける可能性があります



CLOUDのVMware ESXiで動いているWindowsにリモート接続